

北里大学 脳神経外科 救急部門の紹介

小泉 寛之

北里大学 医学部 脳神経外科 講師

北里大学 医学部 救命救急医学 講師

北里大学病院は、神奈川県相模原市に立地しています。相模原市は、首都圏南西部、神奈川県北部に位置する政令指定都市です。「相模原医療圏」（人口約 72 万人）、近隣医療圏を含めると 100 万人規模を受け入れる中核病院です。

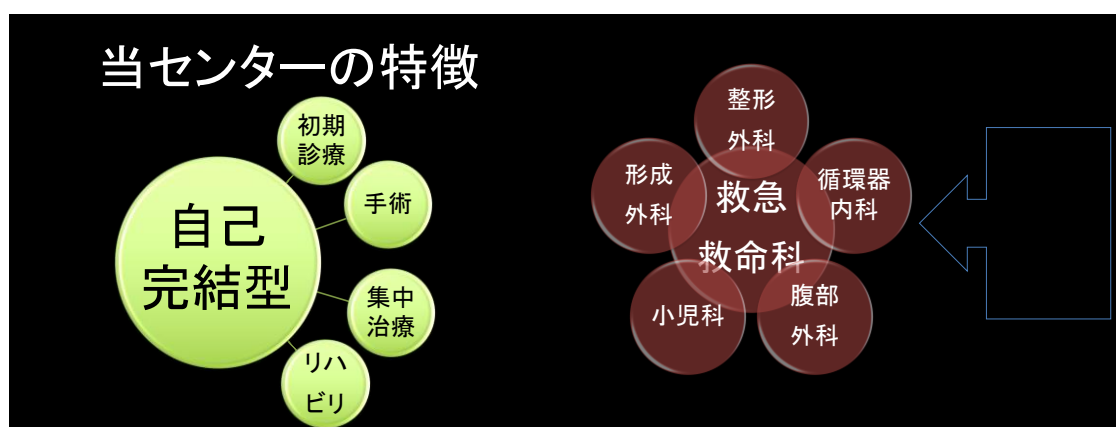


その中でも、当院救命救急・災害医療センターは年間 2500 名の重症患者を受け入れています。ドクターカーを 2 台保有し、年間出動回数は 200 件にのぼります。耐重量が 11t と大型ヘリも着陸可能な最大級の屋上ヘリポートを有しており、日々のドクターヘリによる搬送症例だけでなく、海上保安庁羽田特殊救難隊とも協定を締結し、海保ヘリ救助された症例はダイレクトに北里大学病院へ搬送されてくる体制が整っています。一刻を争う重篤な患者さんに対して、迅速かつ高度な救急医療を行なう、相模原医療圏の救急・災害医療の最後の砦としての役目が当センターに当たります。



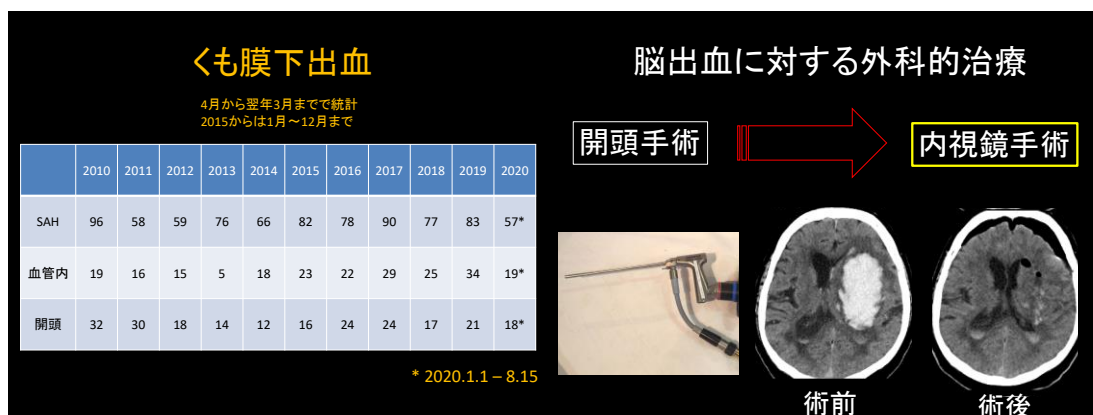
当センターの特徴は、自己完結型救命センターであり、総合診療や初期診療から手術、集

中治療、早期リハビリ、退院まで一貫した医療を行うシステムを取っています。すなわち、救命センター内で、患者さんの治療を完結させることができます。また、この診療システムは診療科の垣根を超えたチーム医療を発揮でき、迅速な治療を必要とする重症患者に対してより円滑に治療を進めることができます。患者さんの疾患や病態からどのように治っていくのかを経験でき、自分の手で治療しますので、スキルも向上し、やりがいも生まれます。センターに所属する救急救命科の医師を中心に、整形外科、循環器内科、形成外科、腹部外科、小児科の各診療科が加わり診療に当たっています。そこに、脳神経外科も加わっています。救命センターでの脳神経外科の役割は、主にくも膜下出血、脳内出血、脳梗塞などの急性期血管障害と頭部外傷です。



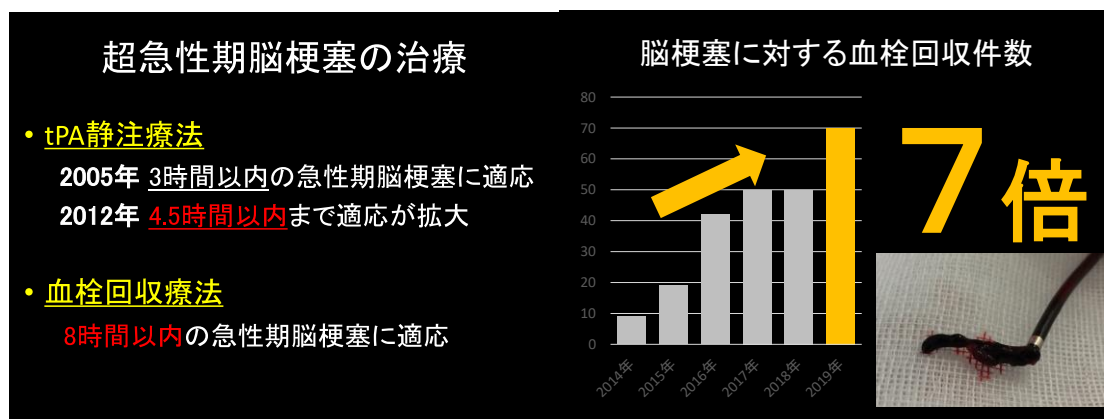
くも膜下出血は年間で 80-90 例、その中で手術例が 5~6 割くらい行っています。治療を開頭で行なうか、血管内治療で行なうかは十分な検討をしてより適切な治療を選択しています。そのため、治療に偏りがなく毎年、ほぼ同数の治療がそれぞれ行われているのが特徴です。

脳出血に対してもこれまでの開頭手術からより低侵襲な内視鏡手術にシフトし、これにより手術時間は短縮され、スピードを要求される救急救命の現場で大きな役割を果たしています。



超急性期の脳梗塞治療には tPA 静注療法は、現在標準的な治療として広く行われています。

しかし、再開通率が低いことや適応時間が短いことが問題です。そこで、最近では血栓回収デバイスによる血栓回収療法が注目されるようになってきました。当院でも2014年から本格的に導入して、当初は10例程度の症例数でしたが、脳神経内科、救急救命科との協力体制が確立したことで2019年には年間70例までの飛躍的に症例数が増加しました。これは、神奈川県内でもトップクラスの症例数の多い施設に成長しました。

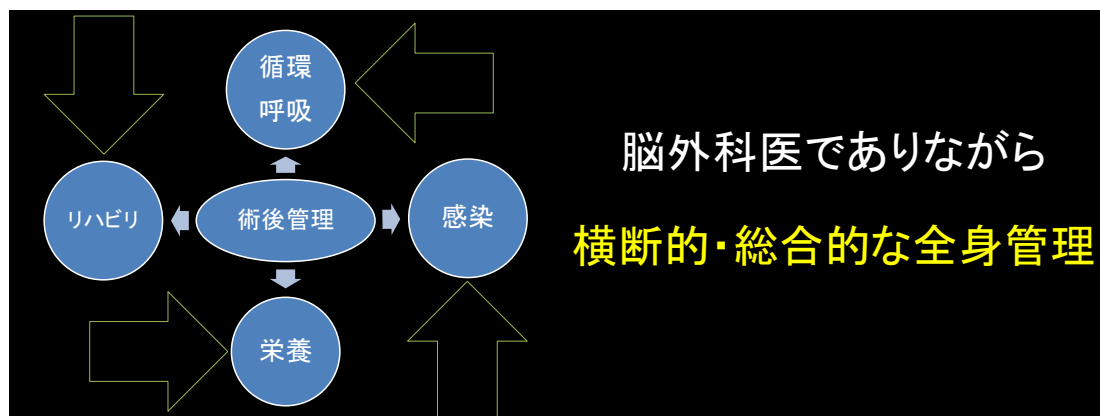


外傷も一般的なものから、論文になるような珍しい症例まで多彩な症例を経験できます。特に多発外傷の場合には、プレホスピタルからドクターカーで出動し、救急科のドクターと共同で迅速に治療を一貫して行えるところが当センターの強みです。

外傷も多彩な症例を経験

自己完結型の救急の利点として、例えば、くも膜下出血であれば、救急搬送された患者さんを、初療室で初期治療を行い、併設されたCT室で検査を行い、診断を行い、治療に移る。この一連の過程を救急センターに脳外科が常駐することで、スムーズに行うことが可能です。そして、くも膜下出血では術後管理も非常に重要です。術後管理では特に自己完結型救急センターの能力が遺憾なく発揮されます。基本は脳外科と救急専属医で診ていきますが、循環・呼吸に問題があれば、循環器内科・呼吸ケアサポートチームなどがすぐに対応。肺炎、尿路感染、髄膜炎などの感染症が起きた場合には、感染症チームが介入して適切な抗

生剤の決定してくれます。栄養に関しては、早期から栄養サポートチームが介入して栄養状態を管理してもらえます。リハビリも早期に理学療法士、言語療法士、看護師を中心としたリハビリチームが行なうことで、患者さんのADL回復を早めます。そして、すべての情報をカンファレンスで共有することですべてのことに迅速に対応でき、それが患者さんの予後につながっています。このように、脳外科医でありながら横断的・総合的な集中治療管理が学べる点も当センター大きな魅力だと考えます。



病棟チームとは、週3回のカンファレンスを行い、術前検討、治療経過報告などを行い、常に情報を共有しています。若手医師は病棟、救急を定期的にローテーションすることで多彩な症例を経験できる仕組みを構築しています。



北里大学出身だけでなく、東北大学、秋田大学、熊本大学、聖マリアンナ医科大学、金沢医科大学、旭川医科大学、信州大学など出身大学は多彩で、みなフレンドリーです。他大学出身の方もすぐに馴染めると思います。女性医師も現在、7人在籍しており、それぞれに活躍しており、女性も居心地の良い医局になっています。北里大学 脳神経外科に興味を持った方、是非、次の時代に向けて、われわれと一緒に頑張りましょう。